慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	東南アジアにおける民主主義と独裁の歴史的起源
Sub Title	The historical origins of democracy and dictatorship in Southeast Asia
Author	粕谷, 祐子(Kasuya, Yuko)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	本研究は, 東南アジア諸国において民主主義と独裁が混在する要因を, 歴史的制度論アプローチを用いて説明しようとするものである。冷戦の終焉以降, 世界各地で民主化が進んだが, 東南アジアにおいてはいまだに多様な政治体制が存在する。例えばインドネシアとフィリピンは民主化の成功例といえるが, シンガポール, マレーシアでは覇権的な政党による長期政権が続き, ベトナムとラオスでは共産党の一党支配が, ブルネイでは王政が継続している。本研究では, 東南アジアでのこのような政治体制の多様性の要因を, 歴史上の「重大局面(critical juncture, その後の政治に大きなインパクトを残す重要な変化がおこる時期)」に注目して説明する。具体的には脱植民地の時点での政治状況に着目する。 本年度は, 理論枠組みに関する論文と, ミャンマーにおける軍政の長期化をパキスタンの短命に終わった軍政と比較分析した論文の2本を作成し, それぞれ国内外の学会において報告した(日本比較政治学会, 全米政治学会, 東南アジア研究学会)。また, 本研究課題を発展させた共同研究プロジェクトを立ち上げ, 研究会を2018年2月と3月に実施した。この共同プロジェクトは2018年4月に日本学術振興会の科研研究費助成事業の基盤研究(B)に採択された。科研の研究においては, 本研究の枠組みを東南アジアだけでなく, 東アジア, 南アジアに拡大して応用する予定である。 This research project aims to understand the formation of various types of political regimes in the wake of decolonization in Southeast Asia. It adopts "historical institutionalist" approach and focuses on political dynamics at the time of independence as "critical juncture." The cases to be studied include Indonesia, Cambodia, Laos, Malaysia, Myanmar, Philippines, and Vietnam. During the school year of 2017, I wrote two papers on this subject and presented them at several international conferences (see item #3 for details).
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170110

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年 4 月 9 日

2017 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	1,000 （特A）千円
	氏名	粕谷 祐子	氏名（英語）	Yuko Kasuya		

研究課題（日本語）

東南アジアにおける民主主義と独裁の歴史的起源

研究課題（英訳）

The Historical Origins of Democracy and Dictatorship in Southeast Asia

１．研究成果実績の概要

本研究は，東南アジア諸国において民主主義と独裁が混在する要因を，歴史的制度論アプローチを用いて説明しようとするものである。冷戦の終焉以降，世界各地で民主化が進んだが，東南アジアにおいてはいまだに多様な政治体制が存在する。例えばインドネシアとフィリピンは民主化の成功例といえるが，シンガポール，マレーシアでは覇権的な政党による長期政権が続き、ベトナムとラオスでは共産党の一党支配が，ブルネイでは王政が継続している。本研究では，東南アジアでのこのような政治体制の多様性の要因を，歴史上の「重大局面(critical juncture，その後の政治に大きなインパクトを残す重要な変化がおこる時期)」に注目して説明する。具体的には脱植民地の時点での政治状況に着目する。

本年度は，理論枠組みに関する論文と，ミャンマーにおける軍政の長期化をパキスタンの短命に終わった軍政と比較分析した論文の 2 本を作成し，それぞれ国内外の学会において報告した（日本比較政治学会，全米政治学会，東南アジア研究学会）。また，本研究課題を発展させた共同研究プロジェクトを立ち上げ，研究会を 2018 年 2 月と 3 月に実施した。この共同プロジェクトは 2018 年 4 月に日本学術振興会の科研研究費助成事業の基盤研究(B)に採択された。科研の研究においては，本研究の枠組みを東南アジアだけでなく，東アジア，南アジアに拡大して応用する予定である。

２．研究成果実績の概要（英訳）

This research project aims to understand the formation of various types of political regimes in the wake of decolonization in Southeast Asia. It adopts "historical institutionalist" approach and focuses on political dynamics at the time of independence as "critical juncture." The cases to be studied include Indonesia, Cambodia, Laos, Malaysia, Myanmar, Philippines, and Vietnam. During the school year of 2017, I wrote two papers on this subject and presented them at several international conferences (see item #3 for details).

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名 （著者・講演者）	発表課題名 （著書名・演題）	発表学術誌名 （著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月 （著書発行年月・講演年月）
Yuko Kasuya and Masaaki Higashijima	"The Historical Origins of Long-Surviving Military Regimes: the Mode of Decolonization, Legitimacy Advantage, and Path Dependency"	Annual Meeting of the American Political Science Association, San Francisco, USA	August 31- September 3, 2017
Yuko Kasuya and Masaaki Higashijima	"The Historical Origins of Long-Surviving Military Regimes: the Mode of Decolonization, Legitimacy Advantage, and Path Dependency"	Southeast Asian Studies in Asia Conference, Bangkok, Thailand	December 14-16, 2017
粕谷祐子	アジア比較政治と地域研究の間：比較政治体制論の可能性	日本比較政治学会総会・研究大会，成蹊大学	2017 年 6 月 17-18 日